目次

一、プログラム 4

二、基調講演

藤井省三

東アジアの文学交流—魯迅と日本の近代作家 6

三、研究フォーラム「東アジアの中の文学者——知と体験」

藤井省三（東京大学教授） 10

林水福（南台科技大学教授） 13

朱秋而（台湾大学教授） 17

林淑丹（文藻外語大学教授・学科主任） 20

四、論文発表

（一）文学

日本的漢文小説《賢乎己》初探 24

文藻外語大學　盧秀満

「もののあはれ」中譯考

–其本質意、各作者的使用意、及本居宣長的解釋意– 26

文藻外語大學　黃佳慧

芥川龍之介の後日談について—「トロッコ」を中心に 28

文藻外語大學　楊淑容

1950 年代における炭鉱記録と『にあんちゃん』（1958 年） 30

同志社大学博士後期課程　姜文姬

（二）日本語学・教育

話しことばにおける接続表現の習得についての事例分析 32

東呉大学　陳美玲

モダリティ形式の特徴から見る

日本語の「だろう」と中国語の“吧” 34

文藻外語大學　方斐麗

日本語らしさ」へのアクセント句の影響

「—連体修飾節を中心に—」 36

文藻外語大學　黃思瑋

スピーチ・ディベートの引用資料からみる

台湾人学生のメディアリテラシー 38

文藻外語大學　小高裕次

遠距教學之學習成效探討—以文藻韓文一課程為例 40

文藻外語大學　鄭恩英

日語教育的知與體驗—以文藻學生的日本海外實習為例 42

文藻外語大學　謝億榮

（三）歴史・社会・文化

一次資料で紐解く日本統治下台湾の紙芝居の展開

—台南の末広公学校の実践活動を中心に— 44

南臺科技大學　黃幼欣

台湾を旅する紙芝居文化—受容・変容の観点からの考察 46

屏東大學　傅玉香

後藤新平の「帝都復興」政策からみる「生物学の原則」 48

義守大学　謝宗倫

Settler Colonization に関わる

日本・ドイツ・植民地期台湾の知的連関

—東郷実と高岡熊雄のドイツ内国植民研究— 50

同志社大学　番匠健一

日本的攝影與文化—探討當代攝影家畠山直哉的作品 52

國立臺南大學　范如菀

日本の原子力政策に関する一歴史社会学的考察 54

文藻外語大學　李姵蓉

国家意識の養成—『公學校地理書第二種』を中心に 56

文藻外語大學　陳淑瑩

1904 年および 1907 年の公学校規則改正にみる

山口喜一郎の公学校への考え 58

文藻外語大學　安達信裕

五、コメンテーター

賴衍宏 61

齋藤正志 62

賴錦雀 63

洪心怡 64

陳志文 65

林蕙美 66

林嘉惠 67

邱若山 68

林潔 69

何思慎 70

陳文松 71

六、スタッフ 73